

森林環境ビジネスモデル事業（新規）

1 事業の趣旨

県有林において、国内の温室効果ガスの排出削減量・吸収量の認証やクレジットの発行・管理等の仕組みを定めた「オフセット・クレジット（J-VER）制度」を、新たな収入源である森林環境ビジネス※としてモデル的に活用するものであり、費用対効果を実証のうえ、効果が認められる場合は本格導入し、県有林の経営改善を図るものである。

他方、全国の県有林に先駆けて実施するものであり、本県の森林環境ビジネスの先行例となるものであることから、新たな森林の価値を生み出す手法として、県内の森林所有者の動機付けとなる側面も有し、環境王国岩手に相応しい低炭素社会の実現に寄与することも目的とするものである。

※ 間伐による森林の二酸化炭素吸収量を販売し、収益を得るもの。

2 事業の内容

県有模範林を対象に、森林経営活動（間伐事業）による二酸化炭素吸収量の増大を活用した間伐促進型プロジェクトを計画、実施するため、以下の事業を行う。

(1) オフセット・クレジット（J-VER）制度参加（326千円）

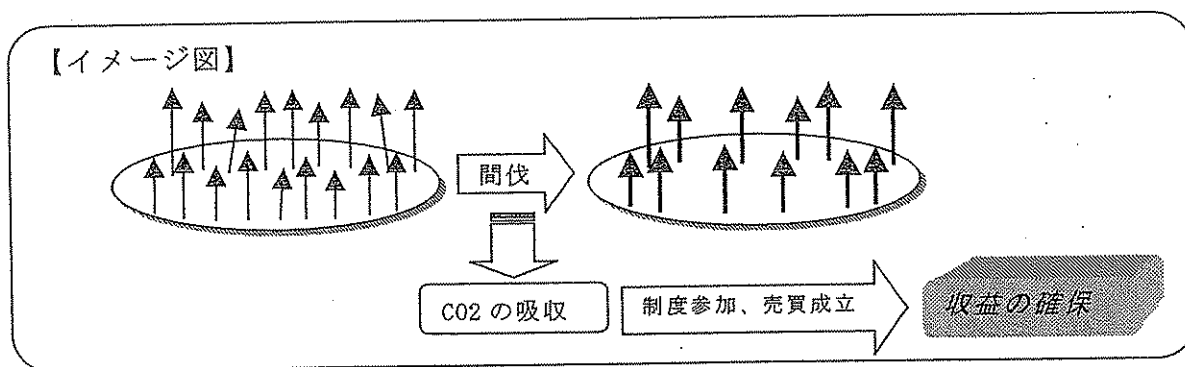
オフセット・クレジット（J-VER）制度に参加する際、手数料として、①申請手数料147千円、②登録手数料105千円、③認証発行手数料53千円、④J-VER口座開設手数料21千円を、事務局である気候変動対策認証センターに支払う。

(2) モニタリング調査（443千円）

オフセット・クレジット（J-VER）の認証を受けるにあたって、モニタリング調査による報告書の作成・提出が必要なことから、これに伴う現地調査委託を行う。

(3) モニタリング報告書検証（2,238千円）

オフセット・クレジット（J-VER）は、温室効果ガス排出削減・吸収量がクレジットと呼ばれる商品として捉えられ、その取引を安心して行えるよう、事業者から提出されたモニタリング報告書を国際的な基準とも整合を保ちつつ、常に高いレベルで安定した品質が確保されているか検証機関が検証する。



3 事業実施主体 県

4 事業実施期間 平成22年度

5 平成22年度予算額 3,007千円

6 担当課 森林保全課 県有林担当（TEL 019-629-5801）

款	01 県有林事業費		項	01 県有林事業費					目	03 模範林費		
事業名	01 模範林造成事業費(「02 森林環境ビジネスモデル事業」)											
区分	事業費 千円	財源									特定財源内容	
		繰入金 千円	諸収入 千円								一般財源 千円	基金繰入金 2,007千円
前年度予算額												
本年度予算要求額	3,007	2,007	1,000								0	
差引増減	3,007	2,007	1,000								0	
事業内容	「オフセット・クレジット(J-V E R)制度を、県有林の新たな収入源である森林環境ビジネスとしてモデル的に活用。新たな森林の価値を生み出す手法として、県内の森林所有者の動機付けとなるよう実施。 (財政課記入欄)											
節	前年度予算額			本年度予算要求額			差引増減					
	積算内容	千円	国庫対応額	補助率	積算内容	千円	国庫対応額	補助率	金額	国庫対応額		
12 役務費					2,564				2,564			
					参加費及びモニタリング検証費 参加費326千円+検証費2,238千円	2,564,000						
					計	2,564,000						
13 委託料					443				443			
					モニタリング調査 直工32,930円×19/2箇所・日×1.3468×1.05	442,392						
					計	442,392						
合計						3,007	0		3,007	0		